学校番号	1004

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	第１学年	・数研出版 BLUE MARBLE English Communication Ⅰ ・数研出版 BLUE MARBLE English Communication Ⅰ ナビゲーションノート ・数研出版 BLUE MARBLE English Communication Ⅰ ワークブック ・美誠社 WORDBOX essential ・美誠社 WORDBOX essential 活用ワークブック表現編

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という4技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについてキーワードでメモをとり、話したり書いたりする言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については、使い方と使用場面を意識して学習することが大切です。「英語を使う」ことを意識して、辞書や教科書本文を活用していきます。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズム・イントネーション・区切りに気をつけて、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・様々な事物や写真の紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの要点をとらえることができるなど。	・エッセイや物語などを読んで、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができるなど。	・読んだ内容を中心に、学んだことや経験したことに基づいて、考えなどを話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。	・事実に基づいて意見などを話すことができるなど。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができるなど。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	関係副詞や分詞構文など，本書で学習する文法に加えて，語彙や表現など，用法や意味を理解している。また，本書を通して学習する社会的，文化的な内容について，簡単な語句や文で示された内容の要点を捉えたり，自身の考えや意見を簡単な語句や文を使用して，発信したりする技能を身につけている。	社会的，文化的な内容についての会話や説明を聞いたり読んだりして，内容の要点を捉えている。また，聞いたり読んだりして理解した内容を，学習した文法や表現，簡単な語句を用いて，聞き手や話し手，書き手を意識し，自身の考えや意見を伝え合ったり，事前に準備したものなど活用して発表したり，理由や根拠を示しながら，まとまりのある文章を書こうとしている。	社会的，文化的な内容についての会話や説明を聞いたり読んだりして，主体的に理解しようしている。また，聞いたり読んだりして理解した内容を，主体的に英語を用いながら聞き手や話し手，書き手に配慮しようとしている。それに基づいて，自身の考えや意見を伝え合ったり，事前に準備したものなど活用して発表したり，理由や根拠を示しながら，まとまりのある文章を書こうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 Visitors’ Voices: Talking About Japan	聞くこと	a: 外国人観光客を惹きつける日本の魅力に関する英文を聞き，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 外国人観光客を惹きつける日本の魅力について、概要や要点を聞き取っている。 c: 外国人観光客を惹きつける日本の魅力について、概要や要点を聞き取ろうとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料（S＋V，S＋V＋C，S＋V＋O，S＋V＋O＋O，S＋V＋O＋C，There＋V＋S の表現），本文の論理展開を理解している。 b: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料，本文の論理展開の理解を基に，外国人観光客を惹きつける日本の魅力について書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 c: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料，本文の論理展開の理解を基に，外国人観光客を惹きつける日本の魅力について読み取ろうとしている。	定期考査 （リーディング）
	Lesson 2 Fashion as a Mirror of the Times	話すこと （やり取り）	a. 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料（S＋V，S＋V＋C，S＋V＋O，S＋V＋O＋O，S＋V＋O＋C，There＋V＋S の表現）を理解している。 b. 聞き取った内容に関連したテーマについて，事実や自分の考えを整理して，ペアで話し合ったりできる。 c. 聞き取った内容に関連したテーマについて，事実や自分の考えを整理して，ペアで話し合しおうとしている。	ペアワーク
		書くこと	a: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料を用いて，本文の内容を再生したり，自分の意見を書く技能を身に付けている。 b: 外国人観光客を惹きつける日本の魅力について，学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を書いている。 c: 外国人観光客を惹きつける日本の魅力について，学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 3 Learning to Accept Differences	聞くこと	a: 仕掛けとソーシャルデザインに関する英文を聞き，その内容を理解する技能を身に付けている。 b: 仕掛けとソーシャルデザインに関する英文を聞き，概要を捉えている。 c: 仕掛けとソーシャルデザインに関する英文を聞き，概要を捉えてようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料（不定詞／動名詞，seem to do，使役動詞＋O＋do，S＋V＋O＋to do），本文の論理展開を理解している。	定期考査 （リーディング）

	Lesson 4 Changing Behavior in Unique Ways		b: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料，本文の論理展開の理解を基に，仕掛けとソーシャルデザインについて書かれた文章を読み取る技能を身に付けている。 c: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料，本文の論理展開の理解を基に，仕掛けとソーシャルデザインについて書かれた文章を読み取ろうとしている。	
		話すこと （やり取り）	a: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料（不定詞／動名詞，seem to do，使役動詞＋O＋do，S＋V＋O＋to do），を理解している。 b: 聞き取った内容に関連したテーマについて，事実や自分の考えを整理して，ペアで話し合ったりできる。 c: 聞き取った内容に関連したテーマについて，事実や自分の考えを整理して，ペアで話し合おうとしている。	ペアワーク
		書くこと	a: 新出語や Key Phrases，Key Language の言語材料を用いて，本文の内容を再生したり，自分の意見を／書いたりする技能を身に付けている。 b: 仕掛けとソーシャルデザインについて，学習した語句や文法事項を用いて，書いたりしている。 c: 仕掛けとソーシャルデザインについて，学習した語句や文法事項を用いて，自分の意見を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2	Lesson 5 A Journey to Peace Lesson 6 What Can We Eat in Space?	聞くこと	a: 語句の意味および発音を定着している。 b: 社会的な話題（平和と教育・単位）についての説明を、視覚情報などを参考にしながら理解している。 c: 平和と教育・単位に関する話題についての説明を、視覚教材などを参考にしながら理解しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 「助動詞」「態」の表現を理解している。 「不定詞」の表現を理解している。 b: 社会的な話題（平和と教育・単位）に関する話題について、書かれた文章を読んで、概要を捉えている。 c: 社会的な話題（平和と教育・単位）に関する話題に関する話題について、書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 「不定詞」の表現を理解している。 「分詞」を理解している。 b: 社会的な話題（平和と教育・単位）に関する話題について、簡単な語句や文を用いて話している。 c: 社会的な話題（平和と教育・単位）に関する話題について、聞き手に配慮しながら簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	ペアワーク
		書くこと	a: 「不定詞」の表現を理解している。 「分詞」を理解している。 b: 社会的な話題（平和と教育・単位）に関する話題について、簡単な語句や文 を用いて書いている。 c: 社会的な話題（平和と教育・単位）に関する話題について、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets	聞くこと	a: 語句の意味および発音を定着している。 b: 文化的な話題（バイオロギング・オーバーツーリズム）についての説明を聞き、要点を理解し ている。 c: バイオロギング・情報を扱う方法についての説明を聞き、要点を理解し ようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 「関係副詞」の表現を理解している。 「仮定」の表現を理解している。 b: 文化的な話題（バイオロギング・オーバーツーリズム）に関する話題について書かれた文章を読んで、概要を捉える技能を身に付けている。 c: 文化的な話題（バイオロギング・オーバーツーリズム）について書かれた文章を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 文化的な話題（バイオロギング・オーバーツーリズム）について描写する表現を理解している。 b: 文化的な話題（バイオロギング・オーバーツーリズム）について、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けている。	ペアワーク

			c: 文化的な話題（バイオロギング・オーバーツーリズム）について、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、伝え合うやり取りを続けようとしている。	
	Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists	書くこと	a: 「関係副詞」の表現を理解している。 「仮定」の表現を理解している。 b: 文化的な話題（バイオロギング・オーバーツーリズム）について考えたことを簡単な語句や文を用い、まとまりのある文章を書いている。 c: 文化的な話題（バイオロギング・オーバーツーリズム）について考えたことを簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3	Lesson 9 Surviving in the Information Age Lesson 10 The Spirit of Zen: Less Is More	聞くこと	a: 語句の意味および発音を定着している。 b: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）について話された説明を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えている。 c: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）について話された説明を聞き、必要な情報、概要、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 「知覚動詞」「分詞構文」の表現を理解している。 「前置詞+関係代名詞」「完了進行形」を理解している。 b: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）について書かれた文章を読んで、要点を捉えている。 c: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）について書かれた文章を読んで、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）について描写する表現を理解している。 b: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）につ いて、自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うやり取りを続けている。 c: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）について、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合うやり取りを続けようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 「知覚動詞」「分詞構文」の表現を理解している。 「前置詞+関係代名詞」「完了進行形」を理解している。 b: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）について、情報や考えを理由や根拠とともにまとまりのある文章を書いている。 c: 身近な話題や文化的な話題（情報を適切に扱う方法・禅の精神）について、読み手に配慮しながら主体的に英語を用いて書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度